

賛助会員の皆さまご協力ありがとうございました。

令和5年度 賛助会員名簿

(順不同・敬称略)
令和6年2月末現在

- 綾羽株式会社
イオンモール株式会社イオンモール草津
一般社団法人草津栗東医師会
一般社団法人びわこ薬剤師会
株式会社鈴木測量設計事務所
草津市教育会
草津市校長会
草津市立こども園園長会
草津電機株式会社
草津保護区草津支部保護司会
草津モラロジー事務所
草津ライオンズクラブ
草津・栗東金融協議会
草津ロータリークラブ
ダイキン工業株式会社滋賀製作所
津田駐車場
中村司法書士事務所

- 青木 和子 津田 正慎 松村 晴美
伊藤 定雄 中村 陽子 湯浅 敦
田中 定一

賛助会員募集

草津市青少年育成市民会議は、「地域の子は地域で守り育てる」を合言葉に、青少年の健全育成を推進しています。この活動を広げていくために多くの方が私たちの活動の趣旨に賛同していただけることを願っています。賛助会員として、私たちの活動にご参加ください。

- 会費 1口5千円 (個人1口以上、法人・団体2口以上)
- 会員特典
- ホームページや広報紙「若麦」等にお名前を掲載します。
 - 広報紙「若麦」をお届けします。
 - 当会が主催するイベントをお知らせします。
- お申込・お問い合わせ 草津市青少年育成市民会議事務局

「草津市青少年育成市民会議」では、一緒に活動してくださる方を募集しています。下記2つの部会のどちらかに所属し年間4回程度、活動に参加していただきます。

- 対象者 草津市民 ●募集期間 随時
- 問い合わせ／申し込み 草津市青少年育成市民会議事務局
- ①育成活動部会
- ・挨拶(あいさつ)運動啓発作品優秀作品の選考に関すること
 - ・青少年に関わる講演や顕彰を行う草津市青少年育成大会に関すること
- ②非行防止部会
- ・青少年に関わる講演やディスカッションを行う「青少年問題をみんなでトーク」に関すること

編集後記

『若麦』を最後までお読みいただきありがとうございます。大人と子どものつながりが薄くなってきている現代社会。あいさつは人と人をつなぐ大切なツールだと感じました。今後も挨拶(あいさつ)運動を推進していきたいと思ひます。(広報部一同)

祝 令和5年度 県表彰

11月11日(土)長浜文化芸術会館で開催された令和5年度滋賀県青少年育成県民大会において表彰されました。

滋賀県青少年等知事表彰

青少年健全育成功労者の部

しみず あきひろ
清水 昭博さん
(草津市青少年育成市民会議 理事)

青少年の健全育成・指導、地域への貢献

滋賀県青少年育成県民会議顕彰

青少年指導者の部

ひび ゆみ
日比 由美さん
(草津市青少年育成市民会議 広報部会員)

学区民会議および市民会議の役員として青少年の育成・指導に貢献

祝 令和5年度 市政功労者表彰

11月3日(金・祝)草津アマカホールで開催された令和5年度草津市市政功労者表彰式において表彰されました。

社会功労

青少年の健全育成に尽力

おくい さよこ
奥井 さよ子さん
(草津市青少年育成市民会議 運営委員)

12月17日開催

青少年問題をみんなでトーク

青少年の課題や問題点などの現状を知り、それぞれの立場での取組や情報を共有することで、関係者相互の理解を深め、青少年健全育成の発展につなげようと、一般参加の方を含め、青少年育成市民会議、学・区民会議関係者のほか、ひとり親家庭福祉推進員、各種団体などから50人の参加がありました。

はじめに滋賀県スクールソーシャルワーク スーパーバイザーの上村文子(かみむら あやこ)様を講師に迎え「生きづらさを抱える子ども若者支援 ～わたしたちに 出来ること～」というテーマでご講演いただきました。

「ヤングケアラー」と呼ばれる子どもたちの実情について、自らの体験を踏まえて大変わかりやすく、親近感のあるお話を伺いました。子どもが本来享受すべき夢や希望をあきらめ、家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもたちが想像以上に大勢います。こうした子どもたちを支援していくためには、子どもに寄り添い、見守ることで子どもたちの『想い』を知ることが何よりも大切であることを学びました。

続いて、新型コロナウイルス感染症対策のため、しばらく行っていなかった参加者によるグループトークを4年ぶりに行いました。「地域で気になること 私たちができること」というテーマで、日頃の青少年への関りから感じていることなどをそれぞれの立場で話し合いました。短い時間でしたが、「地域におけるつながりが希薄になっている今こそ地域の力が必要だ」、「まずは、子どもたちへ声をかけ、見守っていきいたい」など前向きな意見が多く聞かれました。

孤立した子どもを救うためには、行政や教育機関、PTAなどに任せただけでなく、地域での支援がなくてはなりません。まずは私たちができることから始めていかなければならないと強く感じました。

- 目次
- 1～3ページ 草津市青少年育成大会
 - 4ページ 賛助会員紹介・県表彰・市政功労者表彰
青少年問題をみんなでトークほか

草津市
青少年育成大会

11月26日草津アマカホールで「草津市青少年育成大会」を開催しました。当日は草津市青少年育成市民会議顕彰の方々と挨拶(あいさつ)運動啓発作品入賞者の皆さんの表彰を行いました。その後地域の活動事例発表と兄弟アコースティックユニット“ちめいど”さんによるライブ演奏を楽しみました。

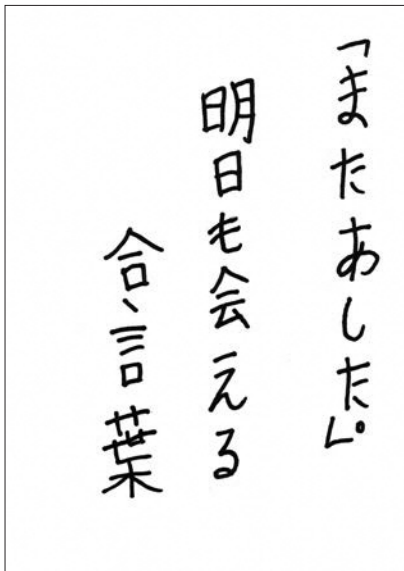


「またあした。」明日も会える合言葉

令和5年度 挨拶(あいさつ)運動啓発作品入賞作品

挨拶（あいさつ）運動啓発作品

市民の皆さんから9,727点の応募をいただきました。大賞などの優秀作品を紹介します。



学校の帰り道に友達とまたあしたねとわかれのあいさつをすると明日もまた友達に会えるんだとうれしく温かい気持ちになります。そんな思いをこめました。



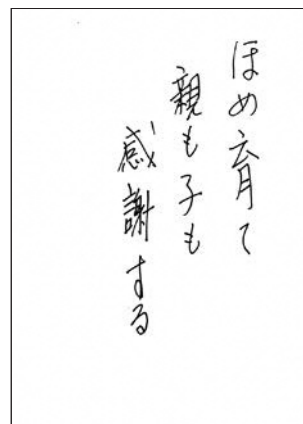
ともだちにあいさつをしようとおもった。



あいさつを1人1人が意識することで、みんなでつながっていききたい！



「おはようっ!!」という言葉で明るい気持ちになれるので、もっと挨拶の声が飛び交うまちになってほしいという思いをこめて描きました。



素直な子たち！いいね。



あいさつをしてなかよくしたい。



礼儀などが苦手な人でも、あいさつなら一言でも礼儀としてあつかわれるため、もっとあいさつをして、信ら度や好感度まで上がるといいな。と思いました。



朝から大切な人に会えてあいさつをかわせたらSNSでメッセージを送り合うよりも、それはちょっと特別な朝になる。

令和5年度 草津市青少年育成 市民会議顕彰

青少年の部

団体での活動を通じて、青少年の健全育成に尽力されました。



工夫を凝らした広報活動を展開し、BBS活動の充実、発展に貢献

青少年育成指導者の部

学区・団体での活動を通じて、青少年の育成指導活動に尽力されました。



矢倉小学校PTA会長、地域協働校進める会通学路合宿実行委員長、矢倉ミニバス指導者として、青少年の育成・指導に尽力



南笠東学区青少年育成学区民会議青少年育成活動部で特に家庭部担当として、青少年の育成・指導に尽力



草津学区青少年育成区民会議会計として、青少年の育成・指導に尽力



南笠東学区青少年育成学区民会議青少年育成活動部長として、青少年の育成・指導に尽力



草津市更生保護女性会役員、草津市青少年育成市民会議運営委員として、青少年の育成・指導に尽力



玉川小学校PTA副会長、玉川学区わんぱくプラザ実行委員、玉川学区青少年育成区民会議事務局員として、青少年の育成・指導に尽力

大会アンケートから

- 表彰式は、皆さん緊張され嬉しい感情が伝わってきました。展示は、アマチュアと思えないくらい上手に描かれていました。
- 子どもたちが自分たちの言葉であいさつの大切さを表現できる機会があるのは自覚を促せるのでいいと思う。
- 事例を通して、取り組まれていることを知ることが出来、自分ももっと地域のイベントに参加したいと感じた。
- ちめいどさん、学校へ来ていただきたいです。アコースティックギターの音、ハモリ ステキでした。スタッフのみなさま、ありがとうございました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

ライブ 今を生きる ひとりひとりが名主役

兄弟アコースティックユニット ちめいど

兵庫県生まれの兄弟のデュオで学校公演など、教育分野の出演依頼も多く人権学習として地域公演や教材CDの楽曲提供、さまざまな「テーマソングづくり」でも活躍中のちめいどの二人に音楽を届けていただきました。会場に熱烈なファンが居られ、ちめいどさんにペンライトを振られている姿は素晴らしく、二人も大変喜んで居られました。スクリーンを観たり曲を聴いたり二人を見たり見所満載で、会場の皆さんに喜んで貰える応援歌は、大変良かったです。二人の今後の活躍が楽しみです。



事例 発表

青少年育成志津地区民会議は、市内全域で行われている挨拶（あいさつ）運動や、愛の声かけパトロールに加えて、独自事業で「総ぐるみのみまもり啓発」を展開しています。

コロナ禍を経験した現在、各自が子どもたちへの「みまもり」を考える新たなきっかけづくりを目的に、地域の竹を利用した竹灯籠イルミネーションの製作と展示を各種イベントと連携し実施しています。

また、子どもリーダーの育成活動では、年間プログラムを通じて地域の自然や歴史文化資源を活用し、探検型フィールドワークや地域の諸活動との交流を通して、自分たちが暮らす地域に愛着をもってもらえるよう取り組みを行っています。活動の対象者は小学校4～6年生ですが、今ではOB・OGも後続の運営スタッフとして参加してくれるという好循環が生まれています。

今後も地域の皆さんが「できることを、できる範囲で」子どもたちのみまもりに参画いただき、様々なコミュニティ醸成に繋がるよう取り組んでまいります。（発表者 筆）

